

超長期ビジョンの策定(第三次環境基本計画で提示)

現状と課題

2050年 = 世界人口90億人、中印の台頭など世界経済成長の中心となるアジア...
地球環境は現在でも深刻な状況
今の趨勢のままでは、環境・資源制約など多くの問題に直面

超長期ビジョンの策定

2050年頃の世界、アジア及び日本の環境を見通した超長期の展望を提示
超長期の将来を見据え、環境保全に関する取組の方向付けや
社会システムの見直しをなされる社会を目指す

超長期ビジョンの方向性

- (1) 不確実性に対応するための複数シナリオの検討
- (2) バックカスティング手法の開発と活用
望ましい将来像を描き、目標時期までに実現するための段階的経路を検討
- (3) 超長期の展望を踏まえ社会経済の転換も含めた対応策・政策手法の検討
技術の大きな転換、経済活動における環境コストの内部化など制度的な対応、
ライフスタイルなど需要面の変化、社会参加・政策過程の変化
- (4) 超長期の展望に立った持続可能な社会形成におけるリーダーシップ発揮
のための国際的発信

超長期ビジョン検討に当たっての主要な論点

温暖化効果ガスの大幅な削減 脱温暖化社会とは？
顕在化する温暖化の影響 どのように対応？
深刻化が予想されるアジア地域の環境問題
どのように持続可能な開発を進めるか？
地域的危機 どのようにかかわっていくか？
本格化する環境・資源制約 循環型社会をどう形成？
国内からアジア太平洋地域の生物多様性をいかに確保するか？
国内の少子高齢化・人口減少 社会資本と二次的自然の維持形成のあり方
自然資源の国際的需給が将来逼迫
第一次産業をどのように活性化させていくか？
将来への「負の遺産問題」への対応
環境リスクの早期発見・早期対応のための取組
高齢者の社会参加を含むライフスタイル・地域社会づくり
先進的な技術・研究・経験を踏まえた世界への貢献